

もったいないを、ありがとうに

学校給食 × 物資納入業者 × こども支援団体

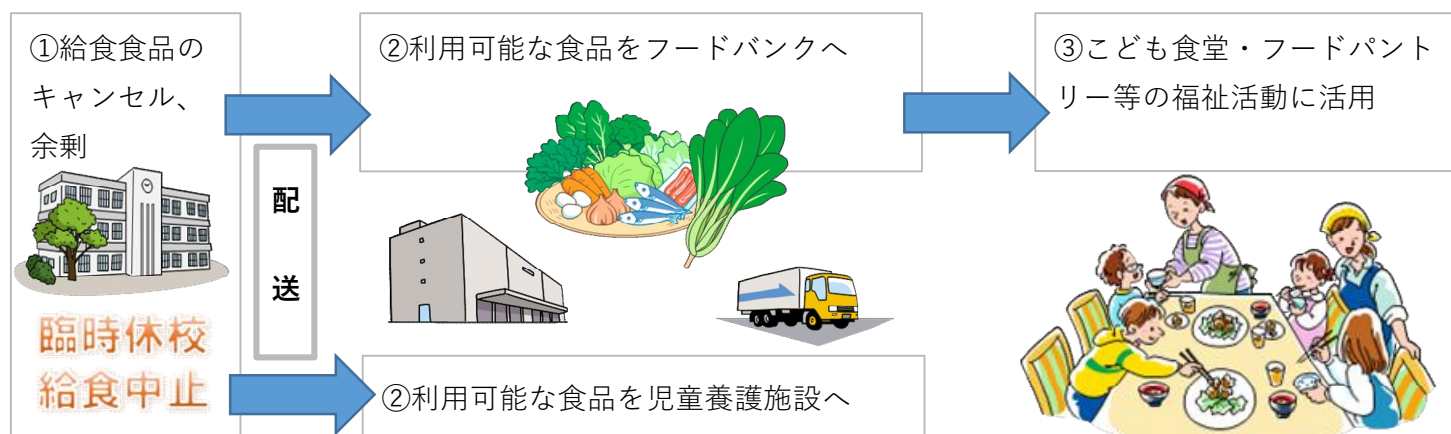
地域で食材をつなぎ、食品ロスを減らし、福祉を支える

学校給食では、急な臨時休校や学年閉鎖などにより、発注済みの食品が余剰となることがあります。

そこで春日部市では、まだ安全に活用できる未利用食品をこども支援団体などへつなぎ、食品ロスの削減と地域の福祉活動に役立てる仕組みづくりを進めます。

このパンフレットは、物資納入業者の皆さまに取組の趣旨を知っていただくための「事業開始のお知らせ」です。

取組のイメージ



物資納入業者の皆さまにも、地域にも、うれしい取組

●食品ロス削減

まだ食べられる食品を「廃棄」ではなく、「活用」へ。

●地域福祉への貢献

地域のこどもや、支援を必要とする方々を支える活動に食品を役立てることができます。

●企業の社会貢献（CSR・SDGs）

食品ロス削減と地域福祉を同時に進める、地域に根ざした社会貢献活動として発信できます。

○ CSR

「企業の社会的責任」を意味し、企業が利益追求だけでなく、環境保全や人権配慮、地域貢献など社会的影響を考慮して活動すべきという考え方です。

○ SDGs

2030年までに世界で達成を目指す持続可能な17の国際目標のことです。その中の「目標12」は「つくる責任 つかう責任」を掲げ、地球環境を守りながら資源を上手に使う社会を目指しています。